

本書の特徴

- 仏教教育学会「仏教にもとづく教育」の理念と実践、その歴史と課題を最新の学術的研究と豊富な事例にもとづいて論究した、初めての選集！
- 財団法人全国青少年教化協議会での寺子屋教育を事例として、学校教育外における仏教教育の社会的実践のあり方を示す。
- 現代社会に痛切に求められている「こころの教育」「いのちの教育」への理論的・実践的指針を提示。

特におすすめる方々

宗教学学校図書館、大学・短期大学図書館、市町村立図書館、教育学研究室、仏教学研究室、思想系研究室、寺院

全六巻

- 1 慈悲の教育 齋藤昭俊著 二八八頁 五、八〇〇円＋税 ISBN 978-4-336-05035-9
- 2 仏教教育の展開 久木幸男編 四一六頁 八、一〇〇円＋税 ISBN 978-4-336-05036-6
- 3 仏教と教育学 和田修二編 三四四頁 六、八〇〇円＋税 ISBN 978-4-336-05037-3
- 4 仏教と道徳 成瀬良徳著 三八四頁 七、七〇〇円＋税 ISBN 978-4-336-05038-0
- 5 仏教教育の実践 神 仁著 三三六頁 五、八〇〇円＋税 ISBN 978-4-336-05039-7
- 6 仏教と生き方 齋藤昭俊著 三二八頁 七、〇〇〇円＋税 ISBN 978-4-336-05040-3

判型 A5判・上製・クロス装・函入

二〇一〇年三月全巻刊行

*内容は変更になる可能性があります。

仏教教育選集

全6巻

「仏教にもとづく教育」の理念と実践を明らかにし、

「こころの教育」「いのちの教育」への指針を示した初めての選集!!

齋藤昭俊 監修

国書刊行会

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15 TEL 03-5970-7421 FAX 03-5970-7427
http://www.kokusho.co.jp e-mail:sales@kokusho.co.jp

取扱店

申込書 ご記入後、お近くの書店へお持ちください。

国書刊行会「仏教教育選集」 セット注文します。(分売可)

お名前

ご住所

お電話

刊行のことば

日本仏教教育学会名誉会長
全国青少年教化協議会事務総長

齋藤昭俊

テレビ、マンガ、週刊誌、ケータイによる思考力の低下、言葉の悪化、家庭における両親の自信喪失による道徳の欠如、礼儀の悪さは現今おおいに目につくところである。

本集は、日本仏教教育学会の先生方が執筆されている。仏教教育研究の現時点での集大成といえるべきもので、今後の研究への試金石となるであろうことを、強く期待している。

監修者略歴

齋藤昭俊(さいとう あきとし)

一九三〇年 栃木市生まれ

一九五四年 大正大学大学院修士課程修了

一九五六年 インドベナレス・ヒンドウー大学大学院(インド政府招聘留学生・二年間)

現在 大正大学名誉教授 日本仏教教育学会名誉会長 全国

青少年教化協議会事務総長 文学博士

著書 『近代仏教教育史』『日本仏教教育史研究』『仏教教育辞典』(編著)『仏教教育入門』『宗教科教育法』(以上、国書刊行会)、『近代インドの宗教運動』『インドの神々』(以上、吉川弘文館)、『宗教教育入門』(佼成出版社)など多数。

推薦のことば——教育再生への必読の書——

日本仏教教育学会会長
佛科大学教育学部教授

竹内 明

『仏教教育選集』が企画から実に十年余、関係者各位のご努力によつて出版されることを慶ぶ。

戦後最大の失敗は教育だといわれる。それは、個性や主体性の尊重という美名の下、いまだ充分に成熟していない子どもに多くの権利や判断を委ねて放任に陥り、価値とか真実の自己を生かすといった人間形成上最も大切な面をおざりにしてきた結果である。文化とは生きる形であり、その中核は宗教なのだ、その文化や習慣を軽視した宗教アレルギーの日本社会が道徳的頹廃をもたらしてきたことは疑いようもない。

わが国が大衆社会状況のなかでエゴイズムと拝金主義が跋扈し、より混乱の度を深めている今日、抛り所とすべきは自らの歴史や文化に他ならない。

我々は深遠な「覚」の実践哲学の体系を包蔵する世界的ブランドの仏教を自らの内なる伝統文化として有している。閉塞感の漂う今こそこの伝統的精神遺産と自覚的に対話して、それを今日の教育に活かさなくてはならない。

この危急存亡の秋、『仏教教育選集』の出版に際会したことは僥倖といつてよい。本『仏教教育選集』は、日本仏教教育学会会員の有志による理念・歴史・実践の三構成契機にわたる仏教教育研究の、現時点での集大成であり、教育再生への必読の書である。ことに教育関係者ら江湖の諸賢に広く読まれることを強く薦めたい。

第一卷 慈悲の教育 齋藤昭俊著

第一部 仏教教育の原理

第一章 インドにおける仏教と道徳

第二章 中国における仏教と道徳

第二部 仏教教育の歴史の展開——日本の事例——

第一章 日本上代・中世の仏教教育

第二章 近世日本における仏教教育

第三章 近代日本における仏教教育と道徳修身

第三部 仏教教育の方法——その評価と実践——

第一章 道徳教育と仏教

第二章 道徳的人間と宗教的人間

第三章 仏教と道徳

第四章 日本における道徳の問題

第五章 日本仏教の倫理

第六章 学習と仏教教育

第七章 仏教教育の方法

第二卷 仏教教育の展開 久木幸男編

序 論 前近代日本の仏教教育 久木幸男

第一部 古代官僧教育とその周辺

第一章 「山家学生式」十二年籠山修行制度の成立とその後 小山田和夫

第二章 綜芸種智院の世界 宮城洋一郎

第二部 中世・顕密仏教のトリレンマ

第三章 中世興福寺の「会」と「講」——南都寺院

社会における学侶の養成——高山有紀

第四章 浄土教の興隆を支える僧俗の学習とその

支援——『他阿上人法語』に見える武士を

中心に——竹内 明

第五章 仏教教育としての遊行の位相 大戸安弘

第三部 近世・寺院法度の内と外

第六章 近世社会における仏教的「教え」受容の

実態とその構造——越前真宗の事例を

中心に——澤 博勝

第七章 女性の仏教修得の軌跡——近世仏教の礎

——籠谷眞智子

第八章 仏教教育の場としての手習塾——往来物

の分析を中心に——木村政伸

結 び——近代への展望——久木幸男

第三卷 仏教と教育学 和田修二編

序 文 和田修二

第一章 今後の人間教育と教育学のあり方

——佛教から学ぶもの——石附 実

第二章 期待と課題——価値観の再構築をめざし

て——桐田清秀

第三章 教育学と仏教の関係試論——臨床教育

学の立場から——皇 紀夫

第四章 いのちの教育と仏教——現代の精神状況

との関連において——山田邦男

第五章 近代教育学の根本問題と「心の教育」の

仏教的基盤——近代的思惟から仏教的思

惟へ——川村覚昭

第六章 教育のアプリオリとしての菩薩的

人間像 小林 恭

第七章 仏教と教育学 朴 先榮

第八章 生涯教育と仏教——ポスト近代への前走

久松真と遠藤虚籟——和田修二

第四卷 仏教と道徳 成瀬良徳著

序 章 仏教と道徳

第一章 仏教における人間と道徳

第二章 仏教における善と悪

第三章 仏教と「悪」

第四章 仏教の戒めと道徳

第五章 行為と罪悪の懺悔

第六章 仏教と儒教の対論

第七章 日本人の仏教と道徳

終 章 仏教教育と道徳教育

第五卷 仏教教育の実践 神 仁著

序 子どもたちに、いのちの大切さを伝えるに

は——宗教情操教育のあり方——

第一章 オルタナティブな「学びの場」を創る

第二章 仏教教育と平和

第三章 全青協活動の新たな展開

第四章 寺子屋教育の実践と可能性

座談会 「寺子屋教育の未来」 野田大燈／和

田重良／秦 辰也／神 仁

おわりに 仏教教育の役割

〈資料〉子どもに関する法制等

第六卷 仏教と生き方 齋藤昭俊著

第一章 智慧に生きる

第二章 慈悲に生きる

第三章 生かし合い、助け合い、慈しみ合いに生きる

第四章 自己発見に生きる

第五章 即事而真に生きる